令和3年11月市議会 教育厚生委員会資料

所管事項調査に係る資料

目次

1 新市庁舎2階子育て関連フロアのあり方について····· P1~6

こ ど も 部 令 和 3 年 11 月



新市庁舎2階子育て関連フロアのあり方について

現状

◆ 子育て関連の機能は、

別館1階にこども総合相談やひとり親の相談、児童扶養手当などを所管する「子育て支援課」、 母子手帳の交付など母子保健を所管する「こども健康課」、

中央総合事務所が所管している乳幼児健康診査を行う「健診室」、

別館3階に、「こども部長室」、保育所や幼稚園等を所管する「幼児課」、放課後児童クラブや 青少年の健全育成を所管する「こどもみらい課」、

「市民会館」で育児学級やツインズ広場などの教室を実施



- ◆子育てをされている市民にとって、現在の市庁舎における子育て関連の機能は集約されておらず、不便でわかりづらい状況
- ◆窓口のスペースの都合上、手続きを行う座席の横に**子ども用の椅子やベビーベッドが設置できていない**、対応できる**窓口数が少ない、プライバシーへの配慮が十分でない**等
- ◆子育てをされている市民にとって、利用しにくい状況

新市庁舎



子育て関連機能(手続き・相談・健診・こども健康教室等)を、全て2階フロアに集約



子育てワンストップフロアとしての役割を果たすためソフト面の充実



具体的な取組みは次頁

子育てされている市民が気軽に安心して利用しやすいように「わかりやすく、迷わせない」環境づくりに取り組む

子育てワンストッププロアとしての役割を果たすためのソフト面の充実

1 子育て総合相談の機能の充実(長崎市子育て世代包括支援センター)

- (1) 子育てワンストップ窓口を設置し、あらゆる相談への対応や必要な支援の提供
- (2) 子育て全般に係る支援メニューの情報集約・市民への情報提供
- (3) 母子健康手帳交付時の専門職(保健師・助産師等)による面接及び実情把握

2 子育て関連業務の連携

- (1) 相談から支援や手続き等が必要な場合は、各所属が連携して対応することで、子育て関連の相談や手続きがワンフロアで完結
- (2) 窓口を移動する必要がある場合は、職員が確実に次へ繋ぎ、市民が最後まで迷うことなく手続き等を終えることができる。

3 利用しやすい環境づくり

(1) お子さん連れでも安心して気軽に利用できる環境づくり

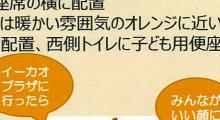
- ① 親子が待ち時間も楽しく過ごせるようキッズスペースを設置し、遊具や玩具を置く。キッズスペースの周りには申請書等が記載できるようテーブルを配置
- ② 窓口の座席の間隔を広く確保し、子ども用の椅子やキャスター付きベビーベッドを窓口の座席の横に配置
- ③ 親しみやすく楽しい雰囲気になるように、壁にイーカオのキャラクターを表示。イメージカラーは暖かい雰囲気のオレンジに近い黄色
- ④ 健診室に子ども用トイレと授乳室を配置し、南側トイレ近くにも授乳室と子ども用トイレを配置、西側トイレに子ども用便座設置

(2) 子育て情報の総合発信

- ① 子育て家庭に有益な最新情報をわかりやすく発信
- ② 子育で情報を発信するためのモニターを設置
- ③ 子育て情報コーナーを設置し、あらゆる情報を提供

(3) プライバシーに配慮した対応

- ① 相談室(3室)を活用し、市民の視点に立ったプライバシーに十分に配慮した対応をする。
- ② 窓口には、まわりから見えないように間仕切りパネルを設置







「イーカオプラザ」

2階フロアを市民に広く認識し、親しみやすく、 気軽に利用してもらうための愛称

「イーカオ(※)」については、

長崎市の子育ての情報発信の愛称として、長崎市の子育 てのホームページの名称となっていることや、子育てガイド ブック等の広報物にも掲載していることから、市民において も一定認知されているため。

※子育てをする上で、いつも子どもたち が「いいかお」でいて欲しいという意味。 さらに、子どもだけではなく子育て家庭や 子育て家庭を支えるみんなが「いいかお」 であることを願うもの。

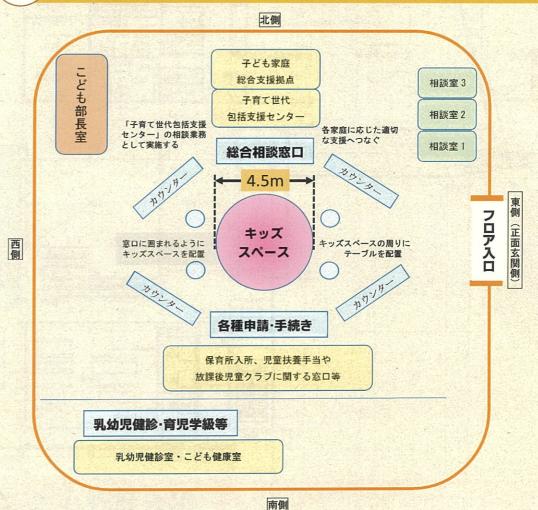


「プラザ」については、

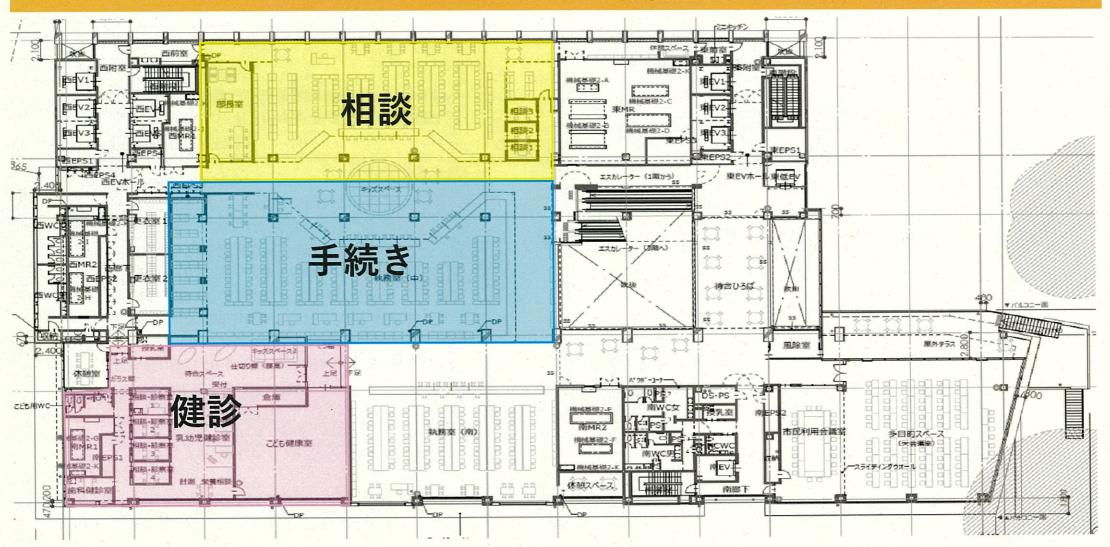
「公共の広場」という意味があり、キッズスペースを中心とし て、広場のように明るく開放的な雰囲気の場所であるため。



イーカオプラザレイアウトイメージ



イーカオプラザ配置予定



イーカオプラザ (イメージ)



